

大阪狭山市議会 議会報告会 & 意見交換会



人・ゆめ・ロマン 狭山池築造1400年

■ 議会報告会 & 意見交換会 レジюме ■

	時間割など
	11月27日(日) 午後1時30分から SAYAKAホール 大会議室
開会のあいさつ 出席議員の紹介	午後1時30分
▼ 第1部 議会の報告 ○ 報告 ○ 質疑・応答	午後1時35分頃
(休憩)	
▼ 第2部 意見交換会 ○ テーマ 「魅力あるまちづくりについて」	午後2時00分頃
○ テーマ 「子育て・教育全般について」	午後2時45分頃
閉会のあいさつ 閉会	午後3時55分頃 午後4時00分

■ 目 次 ■

【第1部 議会の報告】	1
○ 9月定例会議会に提出された議案の概要及び議決結果	2
○ “ 議案の議決結果に係る賛否の状況	6
○ 平成27年度(2015年度)歳入歳出決算	8
○ 平成27年度主要事業	12
【第2部 市民との意見交換会】	19
○ テーマ 「魅力あるまちづくりについて」	20
○ テーマ 「子育て・教育全般について」	21

お 願 い

- 議会報告会及び意見交換会における参加者の発言の概要につきましては、会議の結果報告書として取りまとめた上で公開いたします。なお、この会議の結果報告を作成するため、写真撮影、録音を行い、一部報告書に活用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 議会報告会及び意見交換会は、市民の皆さまからの意見を聴くことに重きを置くため、出席議員からは簡潔な回答や意見にとどめます。また、その回答などは議会として統一されたものばかりでなく、一部個々の議員の主観が入ることもご理解ください。
- 市民の皆さまからいただいた意見や提言について、本日、この場で解決できるとは限りません。
- 意見交換会でいただいた意見等については、可能な限り回答に努めます。なお、適切な回答ができない場合については、議会全体で共有するために意見を持ち帰った上で、議論し、対応を検討します。また、行政等にも必要に応じて伝えます。
- 議会で検討・回答できない意見や要望については、行政等へ伝えます。
- 市民の皆さまからいただいた意見や要望への対応結果は、議会ホームページ等で報告します。時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第 1 部

議会の報告

■ 9月定例月議会に提出された議案の概要及び議決結果

議案第51号	教育委員の委員（田川宜子氏）の選任	
教育委員会の委員に 田川 宜子 氏を新たに選任するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めるもの。		同 意 (全員)

議案第54号	平成27年度(2015年度)下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	
議案第55号	平成27年度(2015年度)土地取得特別会計歳入歳出決算認定	
議案第58号	平成27年度(2015年度)東野財産区特別会計歳入歳出決算認定	
議案第59号	平成27年度(2015年度)池尻財産区特別会計歳入歳出決算認定	
議案第60号	平成27年度(2015年度)水道事業会計決算認定	
いずれも平成27年度の上記会計の歳入歳出決算の認定を求めるもの。		認 定 (全員)
議案第52号	平成27年度(2015年度)一般会計歳入歳出決算認定	
議案第53号	平成27年度(2015年度)国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定	
議案第56号	平成27年度(2015年度)介護保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定	
議案第57号	平成27年度(2015年度)後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	
いずれも平成27年度の上記会計の歳入歳出決算の認定を求めるもの。		認 定 (多数)

議案第61号	大阪狭山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律により、個人番号を利用することが認められている事務以外に条例で定めることにより個人番号を利用する、市のいわゆる独自利用事務として、現在、4つの医療費助成事務を定めているが、今回、新たに児童生徒の就学援助に関する事務など3事務を追加するとともに、地方公共団体の機関が条例で定めるところにより当該団体の他の機関に対して当該事務を処理するために必要な限度で行う特定個人情報の提供に関し必要な事項を定めるため、所要の改正を行うもの。		可 決 (多数)

議案第 6 2 号	市税条例等の一部改正	
地方税法等の一部を改正する等の法律等が公布されたことにより、再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税の課税標準となるべき価格の軽減措置にわがまち特例の導入に伴う改正を行うとともに、個人市民税における、スイッチOTC薬の医療費控除の特例の創設や台湾との間で租税条約に相当する枠組みが構築されたことに伴う特例適用利子・配当等に係る課税の特例等について、所要の改正を行うもの。		可 決 (全員)

議案第 6 3 号	平成 2 8 年度(2016年度)一般会計補正予算(第 5 号)	
老朽化に伴う文化会館の各設備等の改修工事費、(仮称)今熊市民の森緑地保全事業用地購入費、生活保護費国庫負担金等の超過交付返還金、職員退職手当基金積立金等で、歳入歳出それぞれ 1 億 6 , 8 5 8 万 5 千円の増額補正をするもの。		可 決 (多数)

議案第 6 4 号	平成 2 8 年度(2016年度)国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第 1 号)	
平成 3 0 年度の都道府県化に向けた国保事業費納付金等算定標準システム改修費に当初の歳入科目を別科目に措置する必要が生じたことによる財源更正、過年度分の療養給付費等国庫負担金等の精算に伴う国・大阪府への超過交付返還金として平成 2 7 年度決算剰余金を財源として計上するもので、歳入歳出それぞれ 4 , 4 2 0 万 2 千円の増額補正をするもの。		可 決 (全員)

議案第 6 5 号	平成 2 8 年度(2016年度)土地取得特別会計補正予算(第 1 号)	
(仮称)今熊市民の森緑地保全事業用地を一般会計に売却することに伴い、その収入をもって地方債の繰上償還を行うため、歳入歳出それぞれ 1 億 8 , 3 0 0 万 6 千円の増額補正をするもの。		可 決 (全員)

議案第 6 6 号	平成 2 8 年度(2016年度)介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第 1 号)	
過年度分の介護給付費負担金等の精算に伴う国・大阪府等への返還金、介護給付費準備基金への積立金及びいきいき百歳体操事業費で、歳入歳出それぞれ 1 億 5 , 8 7 5 万 8 千円の増額補正をするもの。		可 決 (全員)

議案第 6 7 号	平成 2 8 年度(2016年度)東野財産区特別会計補正予算(第 1 号)	
大阪狭山市財産区地域公共事業等交付金交付要綱に基づき、地域公共事業を執行するため、歳入歳出それぞれ 4 3 万 2 千円の増額補正をするもの。		可 決 (全 員)

議案第 6 8 号	平成 2 8 年度(2016年度)半田財産区特別会計補正予算(第 1 号)	
財産区財産の処分に伴う半田財産区基金への積立て、一般会計への繰出し及び大阪狭山市財産区地域公共事業等交付金交付要綱に基づき、半田財産区において地域公共事業を執行するため、歳入歳出それぞれ 4 , 4 5 0 万円の増額補正をするもの。		可 決 (全 員)

議案第 6 9 号	平成 2 7 年度(2015年度)水道事業会計剰余金の処分	
平成 2 7 年度大阪狭山市水道事業会計で生じた剰余金の処分を行うことについて、地方公営企業法第 3 2 条第 2 項の規定により、議会の議決を求めるもの。		可 決 (全 員)

請願第 5 号	新池(ため池)太陽光発電事業中止を求める請願について	
住宅の裏側が新池で、その新池に太陽光発電が設置されると自然環境や景観、反射光や反射熱の問題だけではなく、人の心身にも影響を及ぼすことから、太陽光発電事業の中止を求めるもの。		継続審査 (多 数)

請願第 6 号	障がい者日常生活用具給付対象に埋込型人口鼻を追加することを求める請願について	
咽頭がん等の手術により声帯を失うことで声が出せなくなるが、気管食道シャント法を利用すると自然な会話ができるようになる。ただし、埋込型人工鼻など空気漏れを防ぐ附属品が必要であり、維持するための経済的な負担が大きいことから、障がい者日常生活用具給付対象に埋込型人工鼻を追加することを求めるもの。		採 択 (全 員)

陳情第 1 号	東幼稚園クーラー設置についての陳情について	
地球温暖化やヒートアイランド現象等により、園児が熱中症に侵されるリスクがある環境は改善してほしい。市内の小中学校は設備が整っており、幼稚園だけ未設置で不合理な状況であることから、市内の他の幼稚園でも同様の環境であれば一緒に設置を求めるもの。		採 択 (全 員)

意見書案第 8 号	大阪府乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書について	
大阪府は、通院の対象年齢を就学前までに引き上げたが、所得制限の引下げなどにより、多くの市町村で負担が大きくなっている。子どもが必要な医療を安心して受けられるよう、大阪府乳幼児医療費助成制度の拡充を求めるもの。		可 決 (全員)

意見書案第 9 号	チーム学校推進法の制定を求める意見書について	
複雑化・困難化する課題に対応できる「次世代の学校」を構築していく必要があることから、専門職員や専門スタッフ等が学校運営や教育活動に参画していく「チーム学校」の実現を図るため、チーム学校推進法の成立などを強く要望するもの。		可 決 (全員)

意見書案第 10 号	無年金者対策の推進を求める意見書について	
無年金者対策は喫緊の課題であり、年金の受給資格期間を 10 年に短縮する措置について 2017 年度中に確実に実施できるよう必要な体制整備を行うことなど、安心の社会保障の実現を図るため必要な財源の確保を含め、早急に取り組むことを強く求めるもの。		可 決 (全員)

意見書案第 11 号	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書について	
非正規雇用労働者に対する公正な処遇を確保し、その活躍の可能性を大きく広げる「同一労働同一賃金」の一日も早い実現のため、不合理な待遇差を是正するためのガイドラインを早急に策定するとともに、不合理な待遇差に関する司法判断の根拠規定を整備することなどに躊躇なく取り組むことを求めるもの。		可 決 (全員)

継続審査について	ため池（新池）太陽光発電事業中止を求める請願について	
市の標語「ふれあい人がはぐくむ水の郷」を信じ、この素晴らしい自然環境を保護するため事業の中止を求めるもので、6 月定例月議会において継続審査となったもの。		継続審査 (多数)

継続審査について	新池（ため池）太陽光発電事業に関する請願について	
太陽光パネル設置事業において、新池（ため池）は適地ではなく、住民合意を得られないことから中止を求めるもので、6 月定例月議会において継続審査となったもの。		継続審査 (多数)

■ 9月定例会に提出された議案の議決結果に係る賛否の状況

議案名 議員名 派名	議案名	議決結果	公明			さやま維新		政風			共産		フロンティア		鳥山健	西野滋胤	議決結果
			片岡由利子	北好雄	徳村賢	上谷元忠	小原一浩	須田旭	松井康祐	山本尚生	北村栄司	薦田育子	松尾巧	井上健太郎	丸山高廣		
人事議案	教育委員会の委員（田川宜子氏）の任命	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度決算認定	下水道事業特別会計／土地取得特別会計／東野財産区特別会計／池尻財産区特別会計／水道事業会計	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計／国民健康保険特別会計（事業勘定）／介護保険特別会計（事業勘定）／後期高齢者医療特別会計			○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
条例	大阪狭山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	可決		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	大阪狭山市市税条例等の一部を改正する条例について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他の議案	平成27年度（2015年度）水道事業会計剰余金の処分	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度補正予算	一般会計補正予算（第5号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）／土地取得特別会計補正予算（第1号）／介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）／東野財産区特別会計補正予算（第1号）／半田財産区特別会計補正予算（第1号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	新池（ため池）太陽光発電事業中止を求める請願について	継続				○	○				○	○	○				
	障がい者日常生活用具給付対象に埋込型人工鼻を追加することを求める請願について	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

陳情	東幼稚園クーラー設置 についての陳情について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
継続 審査	ため池（新池）太陽光 発電事業中止を求める 請願について			○	○				○	○	○						継続
	新池（ため池）太陽光 発電事業に関する請願 について			○	○				○	○	○						

- 1 表の見方 『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『』は継続審査を示しています。
- 2 会派名及び議員名は、会派名とともに50音順。
公明...公明党
さやま維新...さやま維新の会
政風...政風クラブ
共産...日本共産党議員団
フロンティア...フロンティアネット（平成28年10月1日付で、会派名が「リベラルさやま」に変更）

■平成27年度（2015年度）歳入歳出決算

平成27年度（2015年度）会計別歳入歳出決算総括表

（単位：円）

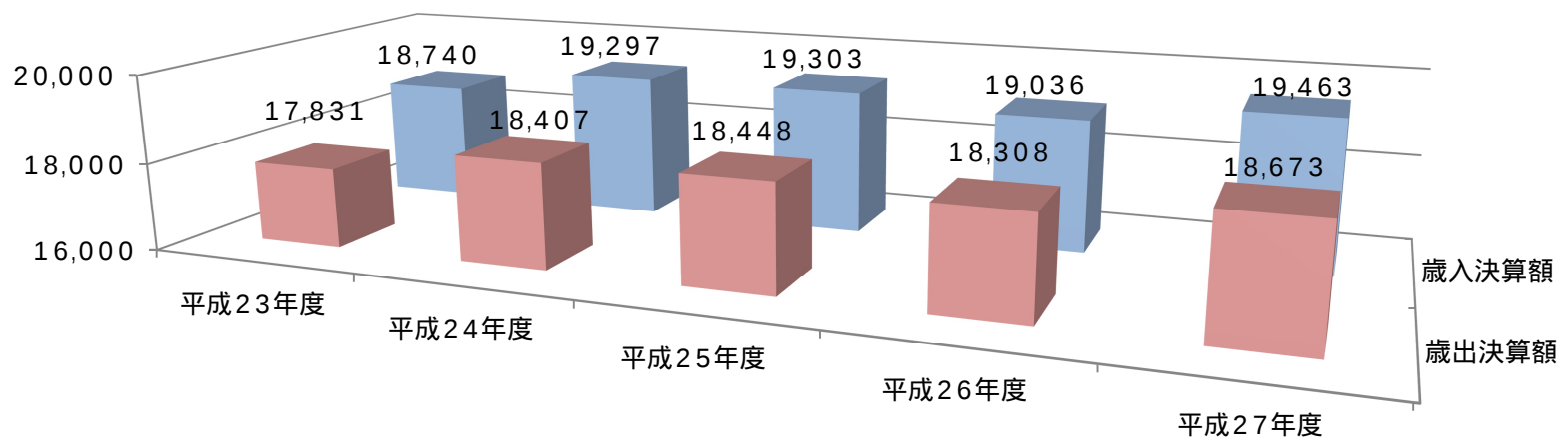
議案番号	会 計 名	歳 入	歳 出	差引額	翌年度繰越財源	実質収支額
第52号	一 般 会 計	19,685,166,958	18,894,598,508	790,568,450	2,024,000	788,544,450
第53号	国民健康保険特別会計	8,116,945,942	7,662,984,238	453,961,704	0	453,961,704
第54号	下水道事業特別会計	1,883,948,271	1,798,813,108	85,135,163	0	85,135,163
第55号	土地取得特別会計	196,637	196,637	0	0	0
第56号	介護保険特別会計	4,244,630,140	4,094,014,953	150,615,187	0	150,615,187
第57号	後期高齢者医療特別会計	836,521,551	805,413,681	31,107,870	0	31,107,870
第58号	東野財産区特別会計	4,614,730	4,614,730	0	0	0
第59号	池尻財産区特別会計	21,939,111	17,351,111	4,588,000	4,588,000	0
	合 計	34,793,963,340	33,277,986,966	1,515,976,374	6,612,000	1,509,364,374
議案番号	会 計 名	収益の収入	収益の支出	資本の収入	資本の支出	当年度純利益
第60号	水 道 事 業 会 計	1,282,064,470	1,199,974,223	323,398,392	510,920,605	60,096,035

（ はマイナスを表す）

● 普通会計 歳入・歳出決算額の推移

「普通会計」とは、他の市町村と比較するために、統一した決まりに従って整理した会計のことです。本市では、「一般会計」と「土地取得特別会計」を合わせた会計になります。

ただし、単純に合計するのではなく、収入と支出が重複する部分を調整(純計)しています。



(単位：百万円)

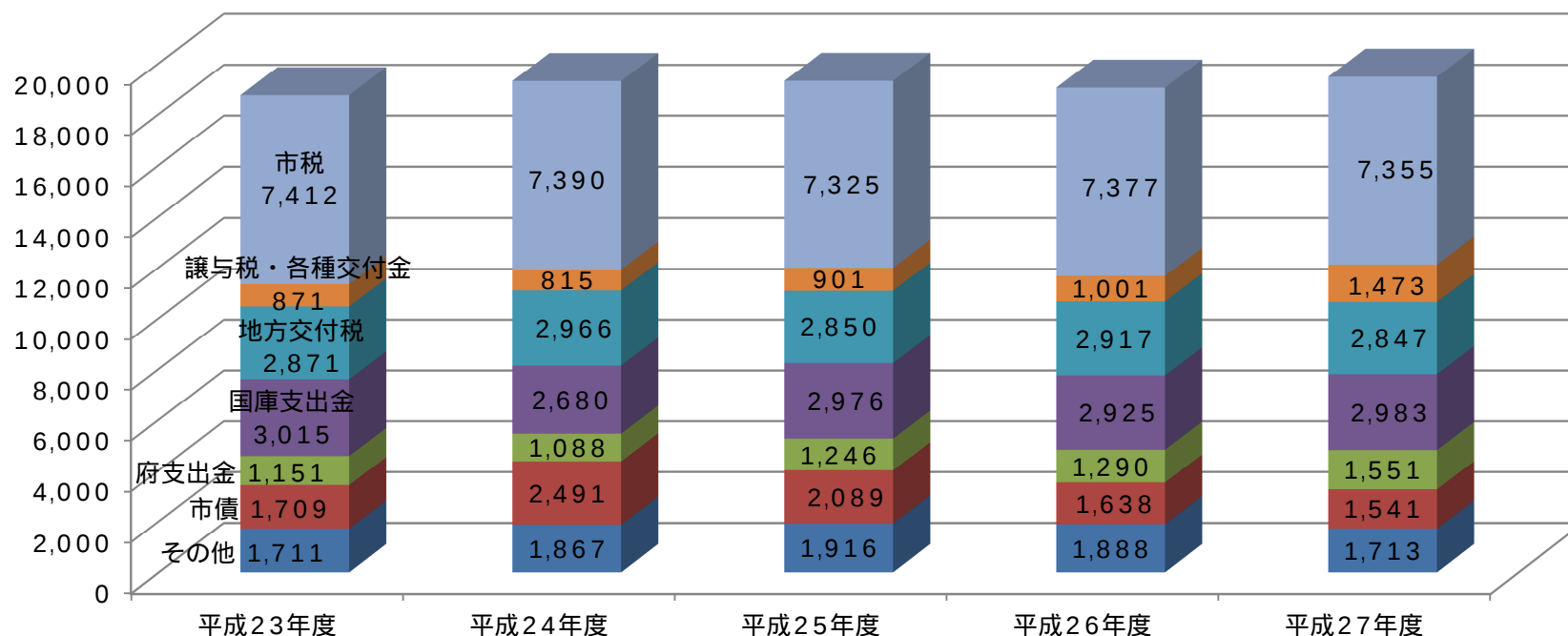
過去 5 年間の普通会計決算額の状況 (単位：千円)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額	繰越金	実質収支額
平成 23 年度	18,739,770	17,831,340	908,430	107,932	800,498
平成 24 年度	19,296,585	18,406,723	889,862	49,481	840,381
平成 25 年度	19,303,138	18,448,251	854,887	17,537	837,350
平成 26 年度	19,035,634	18,308,049	727,585	66,685	660,900
平成 27 年度	19,463,354	18,672,785	790,569	2,024	788,545

歳入額から歳出額を引いた金額に、翌年度に決まった事業に使うお金(繰越額)を除いた金額がプラスの場合は黒字という事になります。

●歳入決算額（目的別）

下のグラフは、過去5年間の歳入の決算状況で、どのような歳入があるのかを示しています。また、項目の説明については以下のとおりです。



（単位：百万円）

市 税
譲与税・各種交付金

市民税や固定資産税、軽自動車税など、市民の皆さんや事業者から納めていただいたお金です。

地方交付税

自動車に課税されている重量税、ガソリン税、預金利子や株式配当、地方消費税などで課税されているお金が一定の決まりに従って各市町村に配分されます。現在、自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の9種類が交付されています。

国・府支出金
市 債

各市町村間では、人口の多寡などで収入や支出の状況が異なることから、市町村間の格差を是正することや市町村の財源を保障するという考え方に基つき、国で一括してお金を集め、すべての市町村が一定水準以上の事業(行政サービス)が可能となるような決まりに基づいて、交付されています。

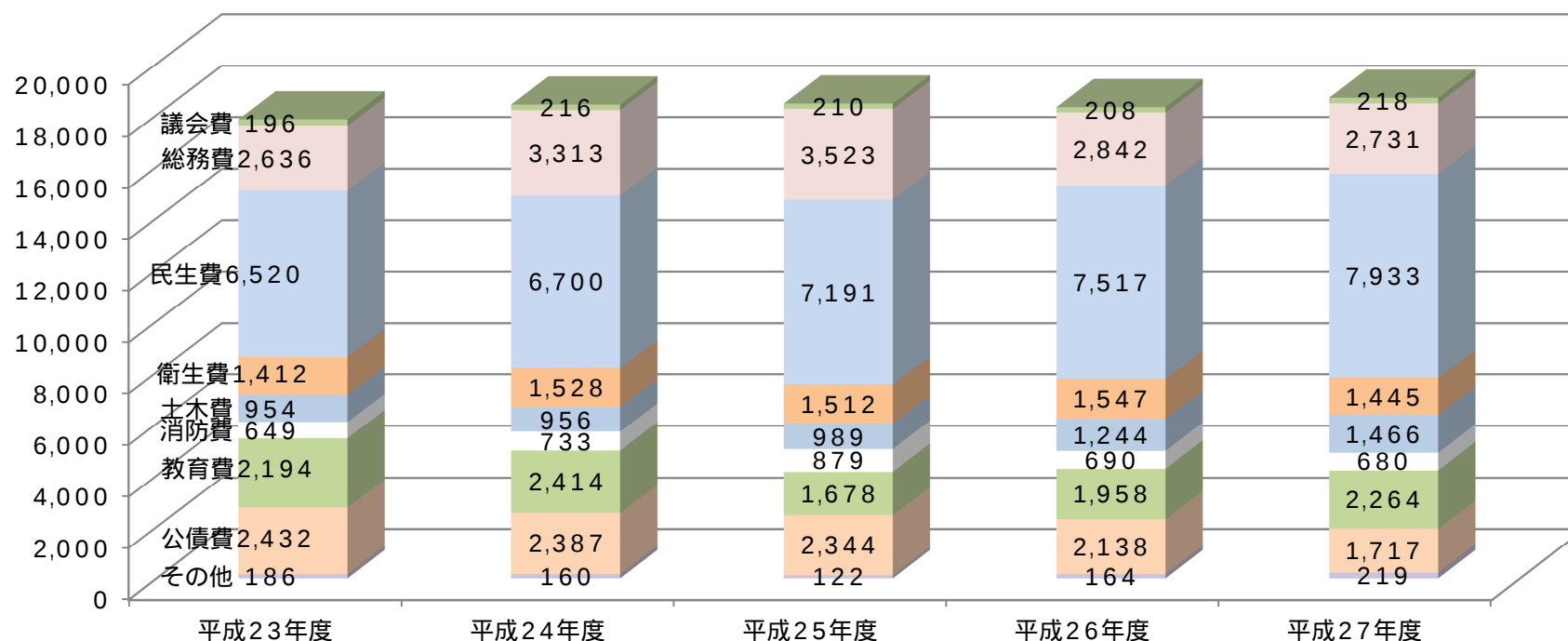
国や大阪府の制度に基づいて事業を実施する場合や、国や大阪府に代わって事業を実施する場合に交付されるお金です。

学校や図書館、文化会館、あるいは道路などの公共施設の整備には多くのお金が一度に必要になり、他の事業に影響が出てしまいます。また、整備した公共施設は、今後転入などで新しく市民になられる方も使用されますので、負担の公平化をしていただくために市債(借金)を発行していますが、後年度の財政負担を考慮して必要最小限の発行に留意しています。

●歳出決算額（目的別）

下のグラフは、過去5年間の目的別決算額の状況です。また、目的についての説明は以下のとおりです。

（単位：百万円）



議会費	市議会議員の報酬や議会運営に必要な費用。
総務費	市役所の庁舎管理や防災・防犯・市税の課税や徴収などに必要な費用。（前年度で市役所庁舎の耐震補強及び大規模改造工事が完了したため、当該年度では減少）
民生費	障がい者、高齢者、保育所や児童手当などに必要な費用。（目的別で一番大きな歳出。前年度より臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金、国民健康保険や介護保険の特別会計への繰出金などの費用が増加）
衛生費	健康増進、予防接種、清掃、環境対策などに必要な費用。
土木費	道路、公園などの整備や都市計画などに必要な費用。
消防費	消防・防火及び消防団や救急活動に必要な費用。
教育費	幼稚園・小学校・中学校などに必要な費用や図書館・公民館などに必要な費用。（前年度より給食センターの耐震補強工事や小学校の給食用エレベータやトイレなどの施設整備費用が増加）
公債費	市債（借金）の元金と利子の返済に必要な費用。（道路整備事業債などについて前年度に償還が完了したため、当該年度では償還額が減少）
その他	農林水産業費、商工費、労働費。

■平成２７年度主要事業(事業内容は１１月広報に掲載されています)

１．大阪狭山らしさを創出する自立と協働のまち

- 魅力発信事業 ７７２９万２千円

２０１６年に築造から１４００年を迎える狭山池の魅力を市内外に向けて発信するため、現代アートとしてラバー・ダックの展示準備や狭山池築造１４００年記念ガイドの発刊などを行いました。

- 南中学校区円卓会議提案事業 ４４０万１千円

高齢者の健康増進に対する意識を高めるための南中円卓元気クラブ事業、地域の人たちが気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら情報交換や交流のできるコミュニティカフェ事業、ウォーキングと楽しいイベントを組み合わせたコミュニティ交流事業、地域の安全・安心を維持するため、ひったくり防止カバーの配布など街頭犯罪防止の啓発や、避難所開設図上訓練を実施しました。

- 第三中学校区円卓会議提案事業 １１４万３千円

地域のイベントやお勧めの場所などを掲載した三中円卓マップを活用したウォーキングの実施や菜の花の種を配布する菜の花いっぱい運動、地域住民によるまちづくりを進め、住民同士が気軽に交流できる夏まつりを実施しました。また新たに、狭山池周辺の遊休農地を活用したフラワーガーデン事業を実施しました。

- 狭山中学校区円卓会議提案事業 ２２４万１千円

地域住民がスポーツを通じてコミュニティづくりを深めるさやりんピック事業や地域美化運動、地域の課題の解決に向けた講演会を開催しました。また、地域の防災・防犯意識を高めるため、防犯啓発ポスターの作成などを行いました。

２．健康で安全して暮らし続けられる思いやりのあるまち

- 子ども医療対策事業 １億８０７５万７千円

子育て支援をより一層推進し、子どもの健やかな成長のさらなる促進を図るため、通院医療費の助成対象の上限を、小学６年生から中学３年生まで拡大しました。

- 在宅医療介護ＩＣＴ連携事業 ８１万円

患者の診療情報や調剤情報、訪問看護情報、介護サービス情報などを医療・介護関係者が登録し、医療・介護従事者が相互にその情報を閲覧できる医療介護情報連携ネットワーク体制の構築を図りました。

- 健康づくり応援団活動支援事業 52万2千円

健康大阪さやま21（第2次計画）に基づき、健康づくりを推進する担い手として「健康づくり応援団」を養成しました。

3．人と自然が共生する環境にやさしいまち

- 狭山池公園改修事業 2億5406万7千円

狭山池築造1400年を迎えるにあたり、狭山池公園の遊歩道の舗装改修、木製通路の補修、照明灯のLED化、東南トイレの建て替えを行いました。

- 桜の里づくり推進事業 128万1千円

狭山池築造1400年記念事業の一環として、狭山池公園の東堤に市民、企業、団体からの寄付や協力により、シンボルツリーを含む13本のコシノヒガンザクラを植樹しました。

- ごみ減量化・資源リサイクル推進事業 1473万円

老朽化した資源化物（缶・ビン）分別収集用の専用リサイクルボックスの更新を進めました。

4．ともに学び世代をつないで人を育むまち

- 幼稚園就園奨励事業 4788万5千円

私立幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減するため、国基準の幼稚園就園奨励費を適用し、保護者の所得に応じて入園料・保育料を補助しました。

- 給食センター施設改修事業 1億5379万3千円

安全・安心な学校給食を提供するため、築40年が経過し、老朽化した学校給食センターの設備などを計画的に更新しました。

- ICT活用推進事業 154万7千円

デジタル教材やプロジェクターの活用などICT（情報通信技術）を効果的に活用し、

子どもたちの課題に対する学習意欲を高める授業に取り組みました。

- 学校施設大規模改造事業 3億8326万2千円

子どもたちが快適で安心して学校生活を送ることができるよう、老朽化した第三中学校の校舎を改修しました。また、老朽化した第七小学校の大規模改造工事の実施設計を行いました。

- 文化会館施設改修事業 1億1497万6千円

文化会館施設の維持管理のため、受電設備や屋上防水シートなどの改修工事や、小ホール舞台調光卓の取替工事を行いました。

- 東小学校フェンス改修事業 404万4千円

老朽化していた東小学校運動場西側のフェンスを改修しました。

- 保育所整備事業 1億8090万円

半田地区に花梨つばさ保育園を整備し、保育の待機児童の解消を図りました。

- 土曜授業サポート事業 10万円

学校や地域の実態に応じて土曜日を有効に活用する取組について研究し、学校の特色づくりを推進し、総合的な学習の拡大を図りました。

- 家庭学習バックアップ事業 164万円

中学生を対象とした家庭学習支援を、土曜日に加えて長期休業中にも集中して実施し、どの子にも学習環境の保障ができるよう努めました。

- 東放課後児童会プレハブ教室新設事業 8196万6千円

入会児童数が増加している東小学校内に、子どもたちが安全で快適に放課後の時間を過ごせるよう、プレハブ教室を新設しました。

- 社会教育センター耐震化事業 231万1千円

市民がより安全に施設を利用できるよう、社会教育センターの耐震補強工事実施設計を行いました。

- 市民ふれあいの里再整備事業 66万4千円

市民が快適に施設を利用できるよう、市民ふれあいの里の音響設備の改修工事を行いました。

- スポーツ施設整備事業 1億949万円

市民が快適に施設を利用できるよう、総合体育館のトイレやシャワー室を改修するとともに、老朽化したバスケットゴール台を新たに購入しました。

- 図書館施設整備事業 3 2 4 万円

市民がより快適に施設を利用できるよう、木製書架、ブックカート、ブックトラックを購入しました。

- さやま元気っこ推進事業（こども広場事業含む） 5 5 4 万 4 千円

市内すべての小学校で、放課後の子どもたちが安全に安心して遊び学べる子どもたちの居場所づくりに取り組みました。

- 狭山池の魅力発見活用事業 1 2 6 6 万 4 千円

平成 27 年 3 月に国の史跡指定を受けた狭山池の歴史・文化的価値を伝える記念碑を設置しました。また、記念品を作成し、リーフレットを刊行するなど、狭山池の魅力を P R しました。

- 行基資料集発刊事業 4 5 8 万円

狭山池と深く関わり、民衆のための社会事業を行った行基に関する歴史資料を体系的に収録した『行基資料集』を刊行しました。

- 狭山藩特別展事業 3 9 7 万 3 千円

狭山池築造 1 4 0 0 年と、市の歴史遺産の中でも全国的に知名度の高い狭山藩が誕生して 4 0 0 年を迎えることを記念し、特別展を開催しました。

5 . にぎわいがあり安全で快適な暮らしのあるまち

- 防災用資機材等分散備蓄事業 2 1 8 2 万 4 千円

災害発生時に、迅速で適切な対応ができるよう、新たに東野幼稚園、狭山中学校、さやま荘に防災倉庫を設置し、すべての指定避難所への防災倉庫の設置を完了しました。また、防災用資機材の充実に努めました。

- 公共下水道（汚水・雨水）整備事業 2 億 7 4 4 3 万円

東野ポンプ場の長寿命化に取り組み、下水道事業の地方公営企業法の適用に向けて、公営企業会計システムなどの整備を行いました。また、集中豪雨などによる浸水被害から市民の財産を守るため、雨水対策を進めました。

- 水道施設整備事業 3億7419万円

水道水を安全で安定的に提供するため、送配水管など老朽管路を取り替え、耐震化を進めました。

- 消防団訓練大会参加事業 497万1千円

府が主催する第59回大阪府消防操法訓練大会の小型ポンプ操法の部に、市の消防団が南河内地区支部の代表として出場しました。

- 救急高度化推進事業 633万6千円

救急需要の高度化に対応するため、救急活動機器の整備や、救急救命士の養成、救急救命士の処置拡大による資格取得などにより、救急隊員の技術向上に努めるなど、救急体制の充実強化を図りました。

- 消防用活動機器整備事業 137万4千円

消防活動に必要な各種消防資機材を、安全で効果的に使用するため計画的に整備し、各種災害事案への対応力を高めました。

- 安全安心スクール事業 26万円

救命・防災・防犯を統合した「安全・安心スクール」を開講し、すべてのプログラムを受講された人に安全安心推進リーダー認定証を交付しました。また、「中学生安全安心スクール」を開講し、市立中学3年生に普通救命技能を習得してもらい、青少年の防災力の強化を図りました。

- 防犯活動推進事業 1408万9千円

自治会、事業者などが自主的に取り組む防犯活動を支援するため、街頭防犯カメラの設置費用の一部助成や青色防犯パトロール車の防犯活動団体への貸し出しなど、協働による安全なまちづくりを推進しました。また、市内の主要駅周辺などに防犯カメラを設置し、防犯環境の充実を図りました。

- ため池等維持管理事業 1919万6千円

災害を未然に防止するため、老朽化した東池尻地区の新池、茱木地区の今池・七池の堤体改修工事を行いました。

- 自主防災組織育成事業 1999万6千円

防災・減災事業の推進のため、自主防災組織を結成している35組織に救出・救護用資機材を貸与しました。

- 地域防災推進リーダー育成事業 3万円

自主防災組織のリーダーを育成するため、防災士の資格取得に対して補助金を交付しました。

6．みんなで創る持続可能なまち

- 第四次総合計画後期基本計画策定事業 8 2 3 万 2 千円

第四次大阪狭山市総合計画の基本構想の計画期間が中間年度を迎えたことから、基本構想で示した目標の達成に向けた取組を推進するため、後期基本計画を策定しました。

- 総合戦略策定事業 7 8 3 万 3 千円

まち・ひと・しごと創生法に基づき、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を提示する大阪狭山市人口ビジョンと、そこで提示された将来の方向性と展望を実現するため、大阪狭山市総合戦略を策定しました。

- 番号制度導入事業 9 7 8 3 万 7 千円

社会保障・税番号（マイナンバー）制度の導入に伴い、市民に個人番号を通知し、希望者にマイナンバーカード（個人番号カード）を交付しました。また、住民情報システムなどの改修を行いました。

- 公共施設等総合管理計画策定事業 8 5 0 万円

公共施設などの全体の状況を把握し、長期的な視点で、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化するため、大阪狭山市公共施設等総合管理計画を策定しました。

第 2 部

意見交換会

テーマ : 魅力あるまちづくりについて

MEMO

[illegible]

テーマ：子育て・教育全般について

MEMO

[illegible]